

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2019年 7～9月期の景況 / 2019年 10～12月期の見通

宇部市内における中小企業の業況は、低迷状態である。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2019年7～9月期の実績と2019年10～12月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から0.5%の悪化となった。業種別では、建設業に変化は見られず、小売業は▲15.8%から▲10.0%、製造業は▲25.0%から▲19.0%へと若干回復したものの、依然としてマイナス値のままである。卸売業が▲5.3%から▲9.1%へ、サービス業が▲13.0%から▲19.2%へと悪化している。

来期の新規設備投資については、今期よりも▲8.2%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、全5業種で「従業員の確保難」(建設業は13期連続、卸売業は8期連続)が1位となった。さらに、建設業を除く4業種で「需要の停滞」が上位となった。

DI(デフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

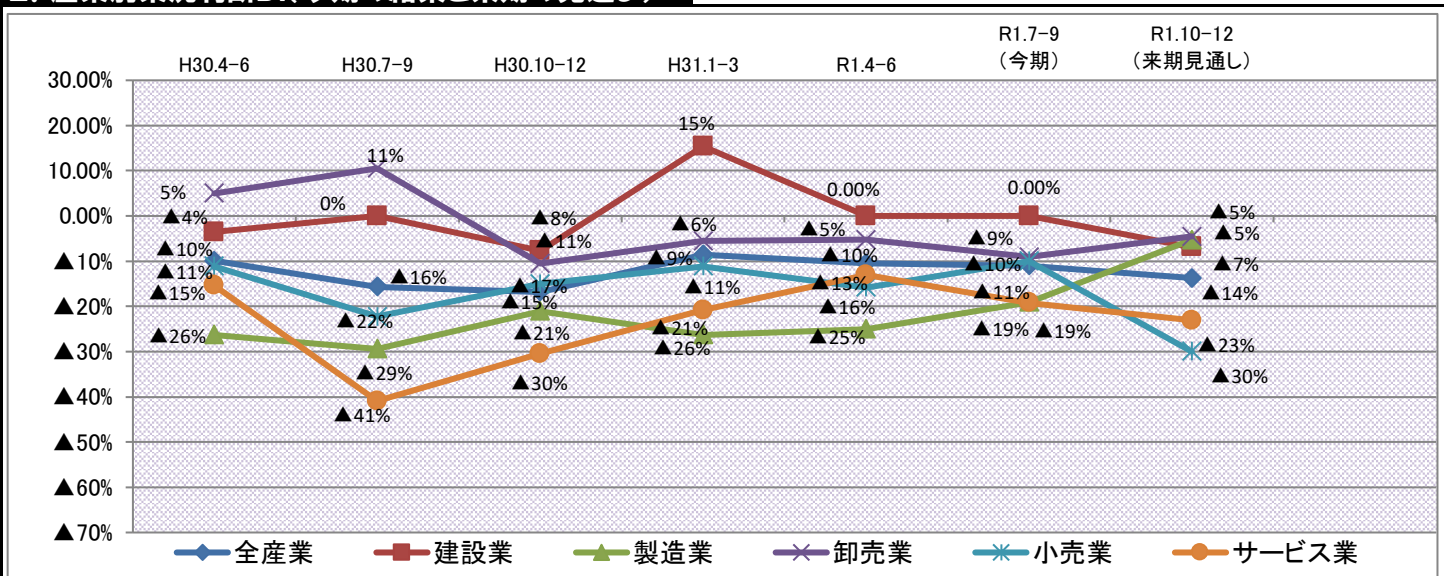
DATE

- 調査期間: 2019年9月17日～9月27日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業135社
- 有効回答企業数: 120社(89%)

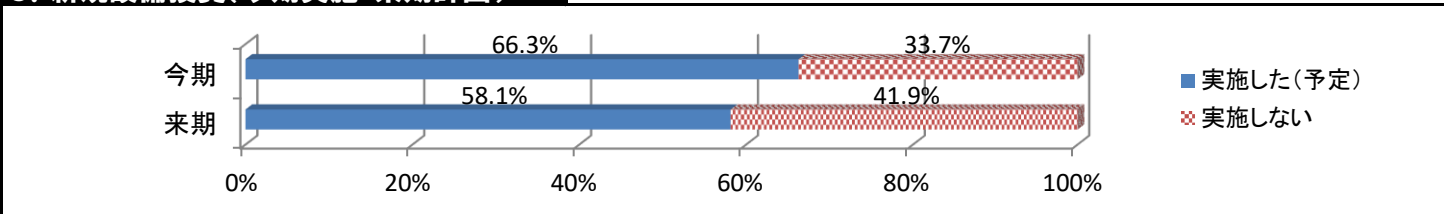
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲11.0%	▲0.5%	▲7.8%	▲1.2%	▲3.4%	0.42%	▲15.3%	4.56%	▲5.2%	0.54%
建設業	0.0%	0.00%	▲3.7%	▲3.7%	3.45%	▲3.7%	▲6.9%	3.82%	0.00%	0.00%
製造業	▲19.0%	5.95%	▲14.3%	3.36%	▲4.8%	▲4.8%	▲28.6%	0.84%	▲4.8%	12.89%
卸売業	▲9.1%	▲3.8%	▲4.5%	5.98%	13.64%	3.11%	▲13.6%	▲8.4%	9.09%	▲6.7%
小売業	▲10.0%	5.79%	15.00%	15.00%	▲5.0%	21.32%	0.00%	26.32%	▲16.7%	▲5.6%
サービス業	▲19.2%	▲6.2%	▲26.9%	▲18.2%	▲23.1%	▲10.0%	▲26.9%	3.51%	▲15.4%	2.01%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	28.1%	従業員の確保難	17.2%	従業員の確保難	23.6%	従業員の確保難	19.2%	従業員の確保難	20.0%
2位	熟練技術者の確保難	22.0%	需要の停滞	17.2%	需要の停滞	18.2%	消費者ニーズの変化への対応	17.3%	利用者ニーズの変化への対応	13.9%
3位	下請業者の確保難	15.9%	原材料価格の上昇	13.8%	販売単価の低下・上昇難	10.9%	需要の停滞	15.4%	需要の停滞	10.8%
4位	官公需要の停滞	7.3%	生産設備の不足・老朽化	12.1%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	9.1%	購買力の他地域への流出	7.7%	熟練従業員の確保難	9.2%